

アジア基準認証フォーラムの概要

- 開催目的： 現在、アジア諸国のいくつかの国がWP29に定常的に参加してきている。本会議は、このような状況を踏まえ、WP29に参加するアジア諸国政府間における基準調和及び認証の相互承認に関する政策的、技術的、実務的な意見交換の場を設立し、アジア諸国の意見を国際基準に反映することも想定した基準調和・認証の相互承認に関するアジア諸国の協調体制を構築することにより、アジア地域を含む世界的な自動車基準の調和と認証の相互承認の実現を加速することを目的として開催するものである。
- 今回の成果： 今回の会合では、WP29の概要と活動、58年協定の権利と義務、ECE規則の採択の方法等が議論された。その結果として
- 1) アジアフォーラムを継続して開催し、国際基準調和について議論を続けること。
 - 2) 58年協定の権利、義務について議論し、協定に関する認識の確認を行うこと。
 - 3) アジアの声を世界の基準調和の場に発していくこと。
- について重要であるとの共通認識が得られた。
- 参加国： アジア地域のWP29参加国又は参加予定国
インドネシア、韓国、タイ、マレーシア、ベトナム、日本
(はオブザーバ)
- 出席者： 各国の自動車関連行政機関(運輸)関係者 13名
- インドネシア 自動車試験認証部
ジョコルデ・デ・ゲング部長
- 韓国 建設交通省陸上交通局陸上交通企画課
チュル・ハン・キム副課長 他 2 名
- タイ 運輸通信省陸運局技術安全部国際基準課
ジラポーン・ケックライソン課長 他 1 名
- マレーシア 運輸通信省陸運局技術部
ムスタファ・ビン・テック課長補佐
- ベトナム 運輸省自動車品質・型式指定局
ファン・カン・タニー副局長
- 日本 国土交通省自動車交通局技術安全部技術企画課
和迩 健二 国際業務室長 他 1 名
- 開催日： 平成15年10月14日(火)
- 場所： ハノイ(ベトナム)
- 主催者： 日本国国土交通省